

平成22年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 **大槌町**

【普通会計の状況】

【表1】 財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力はどうなっているか）

（単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H15比)
標準財政規模（臨財債含む）		4,180	4,053	4,025	4,062	3,994	4,052	4,107			▲ 73 ↓
財政力指数		0.29	0.30	0.30	0.31	0.32	0.33	0.32	0.35	16	0.03 ↑
自主財源比率		26.4	26.2	29.3	28.7	30.2	29.7	25.2	28.1	20	▲ 1.2 ↓
地 方 税	地方税額	955	985	1,041	1,053	1,152	1,175	1,144			189 ↑
	地方税の歳入割合	14.7	15.1	18.4	19.0	21.5	21.4	17.5	23.0	15	2.9 ↑
	市町村税の徴収率	82.4	82.9	83.7	84.8	84.7	84.4	84.8	91.7	33	2.4 ↑
	国税の徴収率	71.9	71.0	74.1	73.4	72.8	67.9	66.3	70.9	31	-5.6 ↓
交 付 税	地方交付税額（臨財債含む）	3,026	2,849	2,780	2,708	2,641	2,727	2,824			▲ 202 ↓
	交付税依存度	46.4	43.8	49.2	49.0	49.2	49.6	43.3	42.1	18	▲ 3.1 ↑

（参考）H22財政力指数 0.31

【表2】 収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		2.2	3.0	2.4	2.6	2.0	3.2	3.7	3.8	16	1.5 ↑
実質単年度収支比率		0.6	5.0	▲ 0.2	1.6	0.2	5.0	2.7	3.6	18	2.1 ↑
基 金	基金現在高	874	854	830	875	912	1,075	1,170			296 ↑
	うち財政調整基金	288	458	478	534	564	716	803			515 ↑
	うち減債基金	329	145	108	102	107	118	124			▲ 205 ↓
	基金残高倍率	20.9	21.1	20.6	21.6	22.8	26.5	28.5	31.9	14	7.6 ↑
連結実質赤字比率						-	-	0.00		-	
一借限度額（普通会計）		900	900	900	900	900	900	900			0 ↓
一借限度額倍率		21.5	22.2	22.4	22.2	22.5	22.2	21.9	18.8	25	0.4 ↓

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。（以下の比率において同じ。）

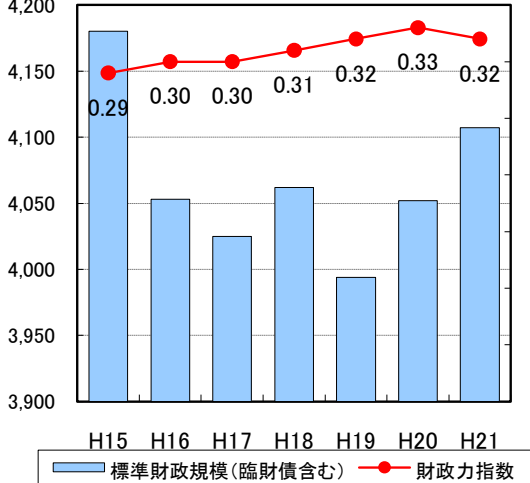
【表3】 歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額	6,413	6,380	5,556	5,421	5,255	5,339	6,299			▲ 114 ↓
歳出決算倍率	153.4	157.4	138.0	133.5	131.6	131.8	153.4	159.3	12	0.0 ↓

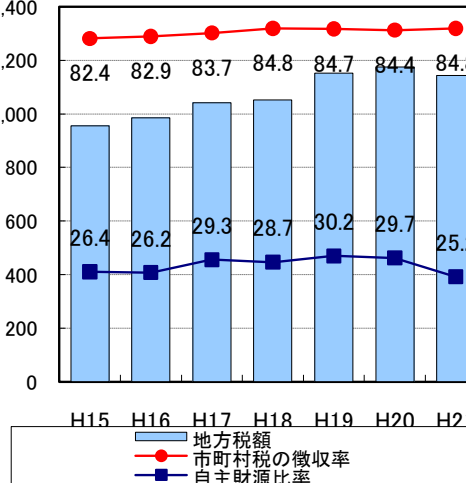
【表4】 財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		85.2	85.8	85.8	84.6	85.3	84.0	81.3	86.2	2	▲ 3.9 ↑
性 質 別 内 訳	人件費の比率	29.8	29.9	28.5	28.0	26.0	23.9	22.2	24.6	11	▲ 7.6 ↑
	物件費の比率	9.0	9.3	10.0	9.9	9.2	9.6	9.4	11.2	9	0.4 ↓
	維持補修費の比率	0.5	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	1.5	1	▲ 0.4 ↑
	扶助費の比率	3.7	4.0	3.9	4.4	5.2	5.0	5.0	5.4	18	1.3 ↓
	補助費等の比率	11.2	11.0	11.3	10.7	11.9	11.8	11.9	12.0	16	0.7 ↓
	公債費の比率	21.6	21.9	21.7	21.6	20.9	20.1	18.5	21.8	6	▲ 3.1 ↑
繰出金の比率		9.5	9.5	10.1	10.0	12.1	13.6	14.3	9.7	33	4.8 ↓
経常収支比率（公債費除き）		63.6	63.9	64.1	63.0	64.4	63.9	62.8	64.5	13	▲ 0.8 ↑

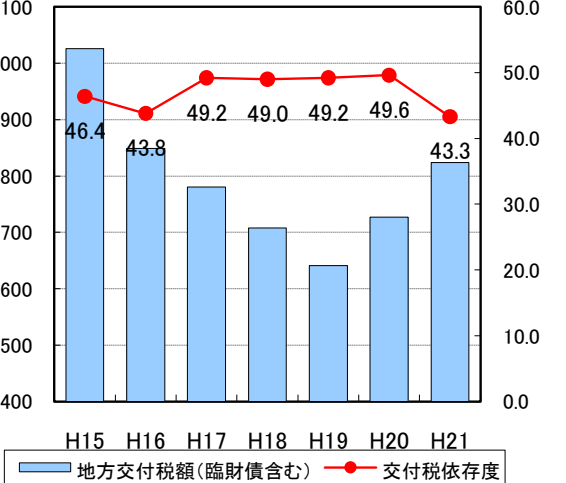
【図1-1】標準財政規模と財政力指数



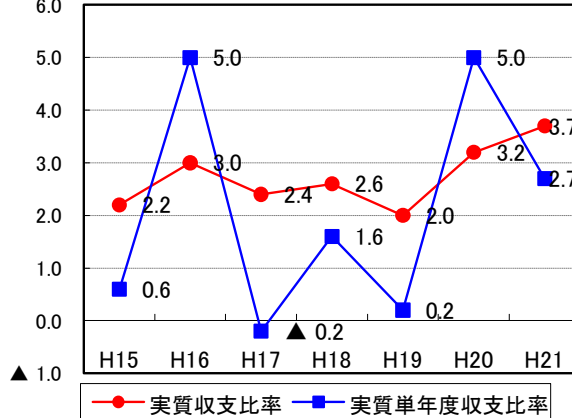
【図1-2】地方税額・徴収率と自主財源比率



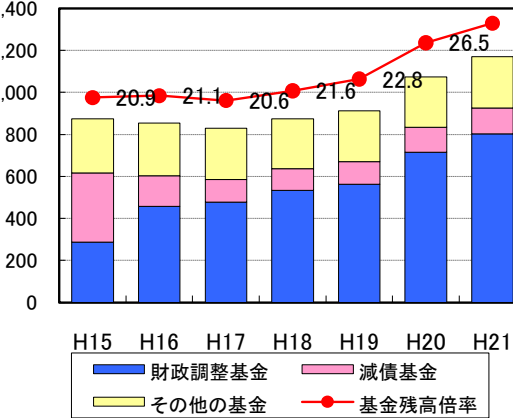
【図1-3】地方交付税額と交付税依存度



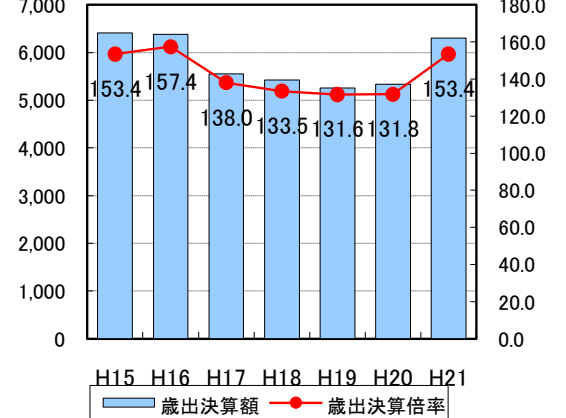
【図2-1】実質収支比率と実質単年度収支比率



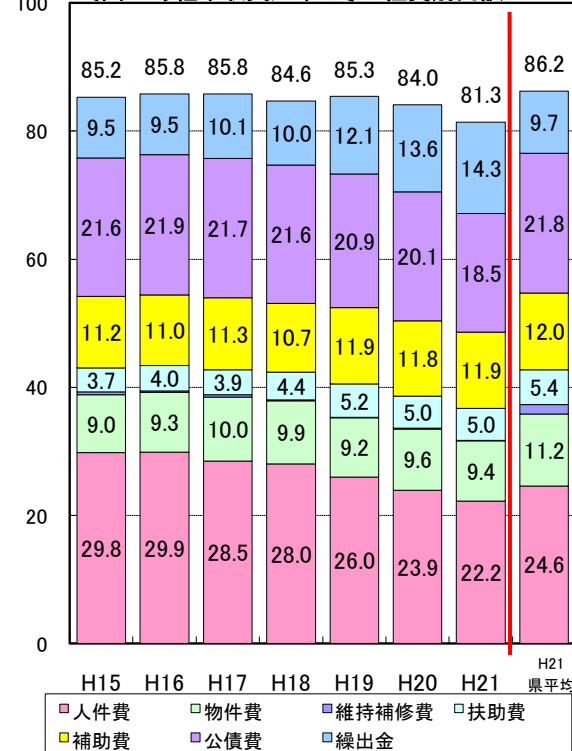
【図2-2】基金現在高と基金残高倍率



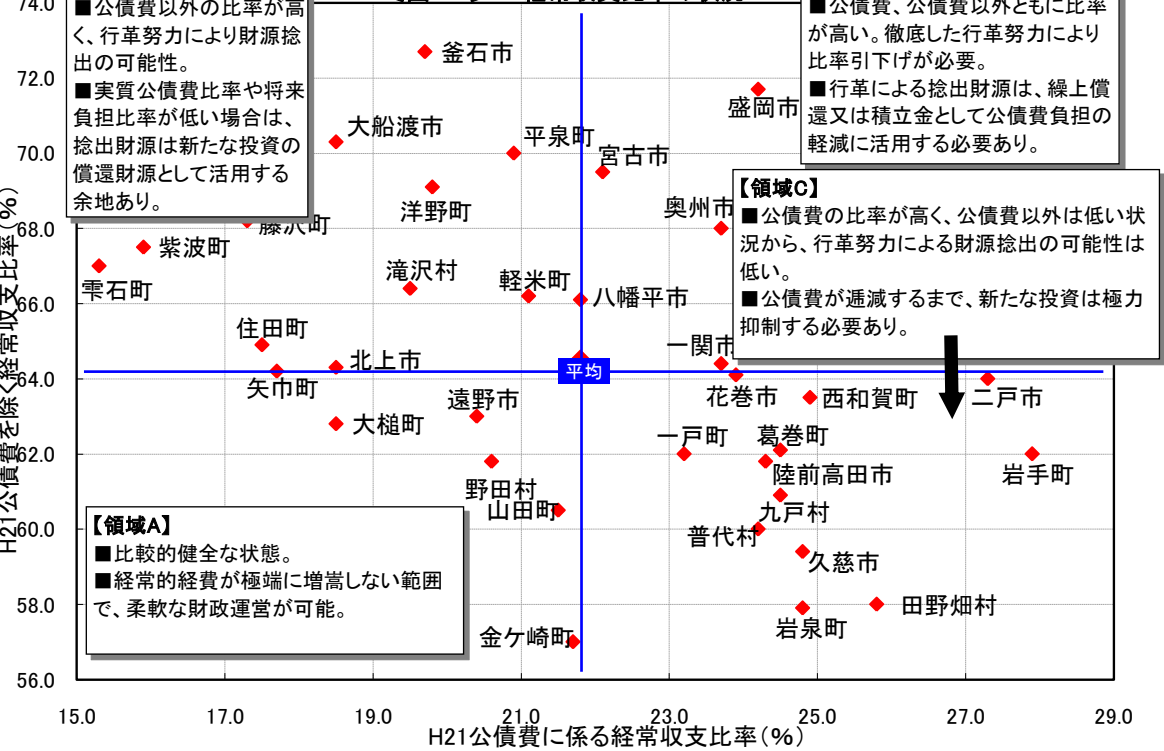
【図3】歳出規模



【図4-1】経常収支比率とその性質別内訳



【図4-2】H21経常収支比率の状況



市町村名 **大槌町**

〔表5〕人件費と公債費の適正度（⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうなっているか）（単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H15比)	
職員数と 人件費	職員数	186	170	168	161	146	140	136			▲ 50	↑
	うち普通会計関係	158	143	140	132	120	114	110			▲ 48	↑
	うち企業会計等会計	28	27	28	29	26	26	26			▲ 2	↑
	人口千人当たり職員数	10.6	9.8	9.8	9.5	8.8	8.5	8.4	9.9	29	▲ 2.2	↓
	ラスパイレス指数(給与水準)	91.6	91.6	91.9	91.2	91.9	92.8	未定	95.5	12	1.2	↓
費 公 債	公債費負担比率	19.1	19.5	19.8	20.0	19.4	18.7	15.9	18.3	7	▲ 3.2	↑
	実質公債費比率(3カ年平均)			15.3	15.8	15.9	15.0	13.6	16.0	10	▲ 1.7	↑

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕投資的経費の状況（⇒社会資本整備のための投資的経費の状況(歳出決算シェア)はどうなっているか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	15.2	17.2	7.7	7.9	6.8	7.8	17.2	16.9	15	2.0	↑
うち単独事業	6.5	6.3	5.2	4.6	5.5	4.3	13.1	10.5	8	6.6	↑

〔表7〕プライマリーバランスと地方債残高の状況（⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、結果として地方債残高はどうなっているか）

元金償還額(臨財債を含む)	730	739	746	753	719	712	658			▲ 72	↑
地方債発行額(臨財債を含む)	1,033	971	452	398	381	310	694			▲ 339	↑
地方債残高(臨財債を含む)	7,762	7,994	7,700	7,345	7,007	6,605	6,640			▲ 1,122	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	141.5	131.4	60.6	52.9	53.0	43.5	105.5	78.2	30	▲ 36.0	↑
地方債現在高倍率	185.7	197.2	191.3	180.8	175.5	163.0	161.7	184.3	7	▲ 24.0	↑

※地方債残高にはNTT債を含まないので、前年度との差引きが合わない場合がある。

〔表8〕将来の財政負担の状況（⇒将来的な財政負担の状況(ストック)はどうか。）

①地方債残高	7,762	7,994	7,700	7,345	7,007	6,605	6,640			▲ 1,122	↑
②債務負担行為支出予定額	1,109	677	614	517	521	442	518			▲ 591	↑
③基金現在高	874	854	830	875	912	1,075	1,170			296	↑
将来財政負担額(①+②-③)	7,997	7,817	7,484	6,986	6,616	5,972	5,988			▲ 2,009	↑
将来財政負担比率	191.3	192.8	186.0	172.0	165.7	147.4	145.8	168.0	13	▲ 45.5	↑
将来負担比率					114.7	94.9	83.1	116.4	9		

〔国保等事業会計の状況〕 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

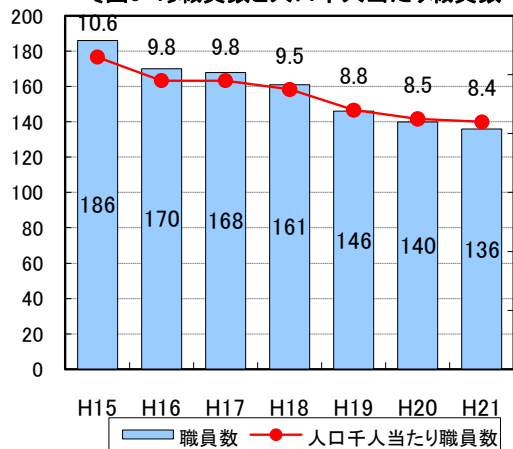
〔表9〕収支の状況

全会計の実質収支合計額	▲ 33	▲ 12	80	128	155	177	101			134	↓
上記の標財規模に対する割合	▲ 0.8	▲ 0.3	2.0	3.2	3.9	4.4	2.5	2.5	8	3.3	↓
実質収 支の内 訳	国保(事業勘定)	▲ 40	▲ 22	59	114	145	154	86		126	↑
	国保(直診勘定)				0	0	0	0		#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
	介護保険	7	10	21	14	10	22	15		8	↑
	介護サービス				0	0	0	0		#VALUE!	#VALUE!

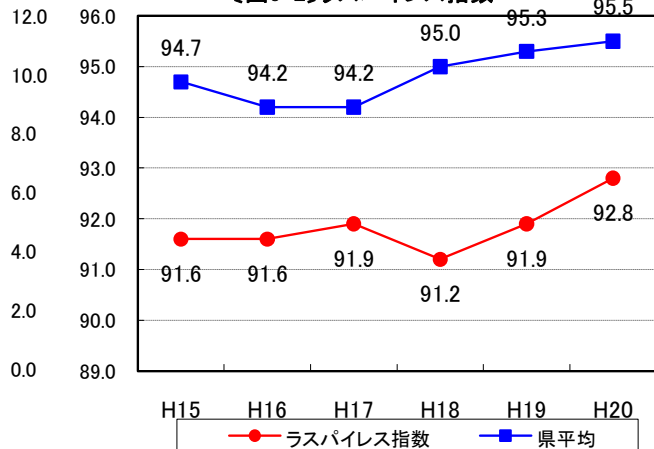
〔表10〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	437	553	597	556	546	378	362			▲ 75	↑
上記の標財規模に対する割合	10.5	13.6	14.8	13.7	13.7	9.3	8.8	3.0	32	▲ 1.7	↑
繰入 金の 内 訳	国保(事業勘定)	137	214	249	211	205	171	164		27	↓
	国保(直診勘定)				0	0	0	0		#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	125	145	149	158	152	13	0		▲ 125	↑
	介護保険	175	194	198	187	189	194	197		22	↓
	介護サービス				0	1	1	2		#VALUE!	#VALUE!

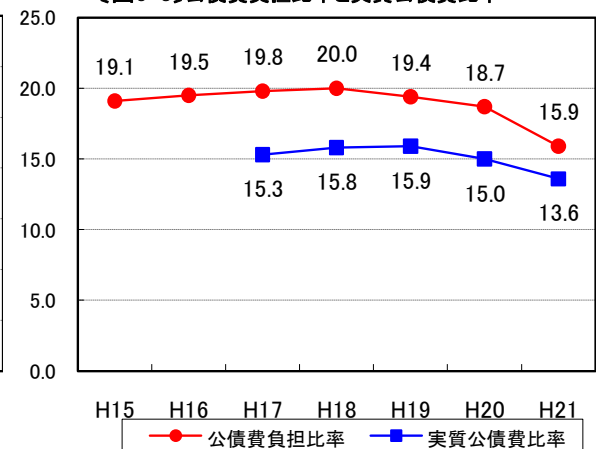
〔図5-1〕職員数と人口千人当たり職員数



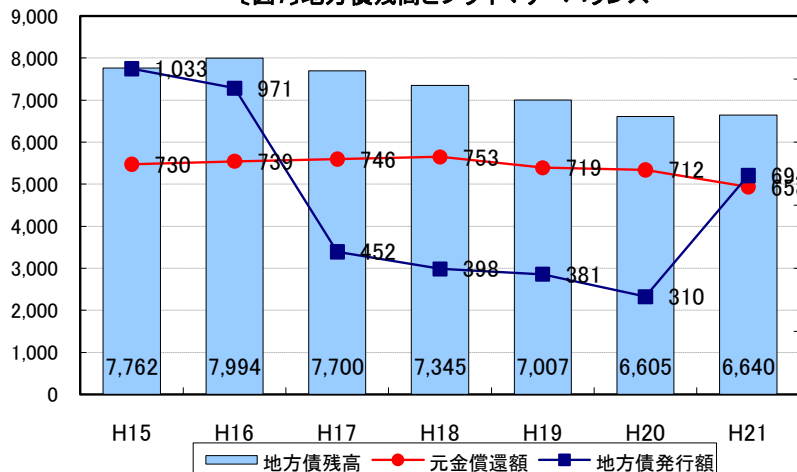
〔図5-2〕ラスパイレス指数



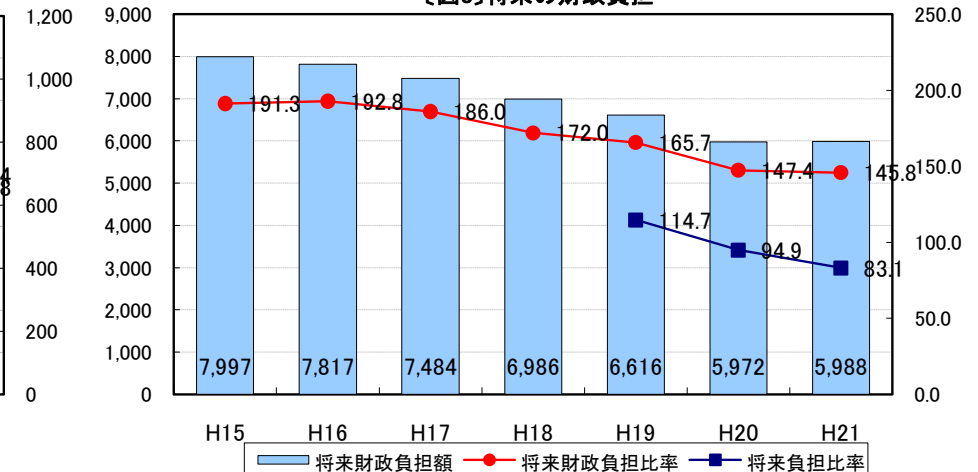
〔図5-3〕公債費負担比率と実質公債費比率



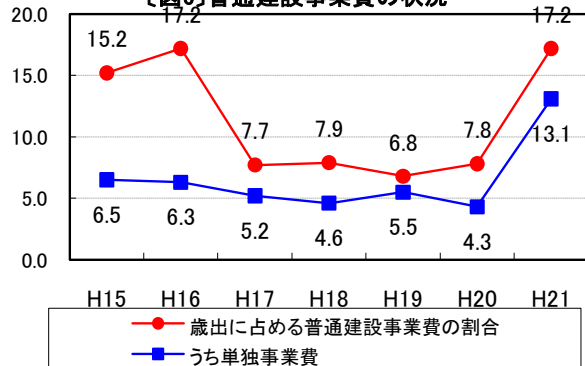
〔図7〕地方債残高とプライマリーバランス



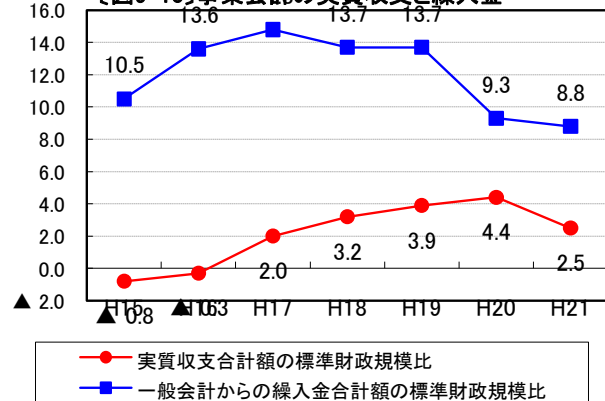
〔図8〕将来の財政負担



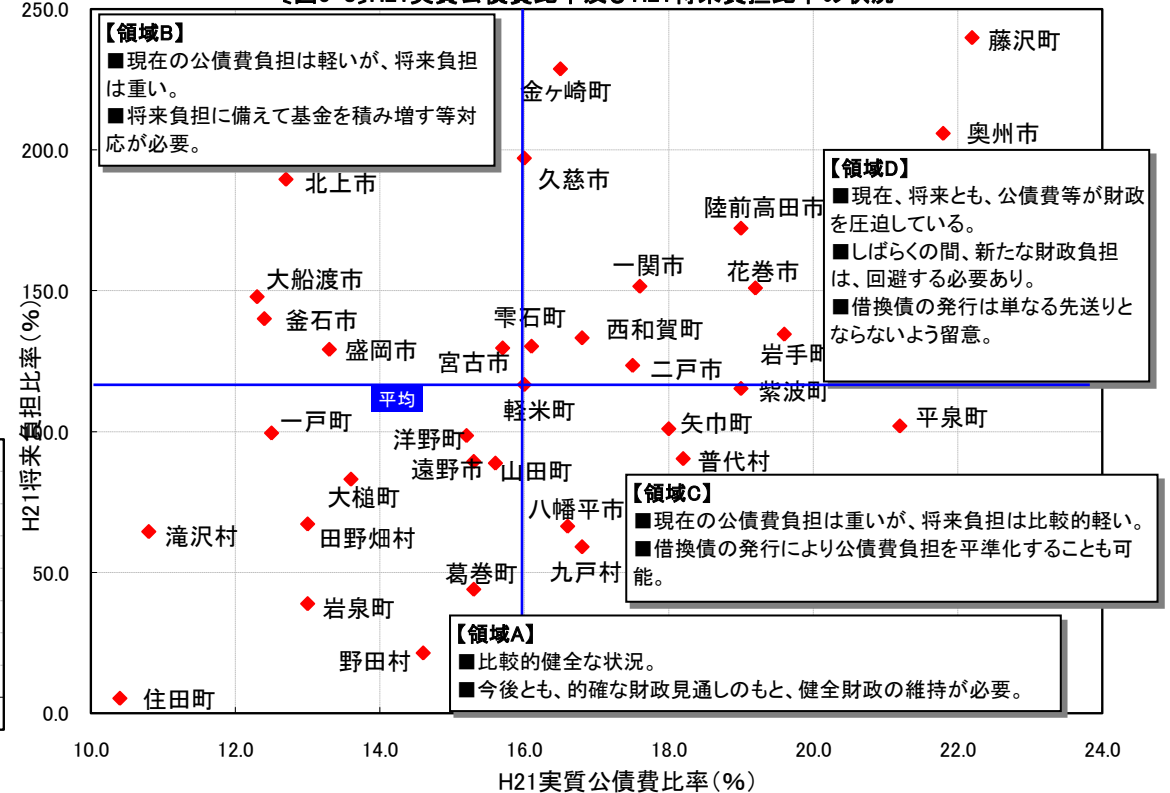
〔図6〕普通建設事業費の状況



〔図9-10〕事業会計の実質収支と繰入金



〔図5-8〕H21実質公債費比率及びH21将来負担比率の状況



【公営企業の状況】

〔表11〕収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

								(単位:百万円、%)		
項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況 順位 改善又は悪化の 傾向(H15比)
全会計の収支合計額		26	18	21	22	25	27	30		4 ↑
上記の標財規模に対する割合		0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7	0.5	0.1 ↑
法 適 用 企	上水道	24	14	17	17	20	20	23		▲1 ↓
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
法 非 適 用 企 業	簡易水道	0	1	0	1	0	0	1		1 ↑
	公共下水道	2	1	2	2	3	5	4		2 ↑
	漁業集落排水	0	3	2	2	1	1	2		2 ↑
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A

〔表12〕資金不足の状況

資金不足比率					-	-	-		-	
					-	-	-		-	
					-	-	-		-	

〔表13〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	325	257	317	316	314	302	270			▲55 ↑
上記の標財規模に対する割合	7.8	6.3	7.9	7.8	7.9	7.4	6.6	7.6	15	▲1.2 ↑
うち基準外繰入金合計額	222	152	216	223	186	187	148			▲74 ↑
法 適 用 企	上水道	2	2	2	2	0	0	0		▲2 ↑
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
法 非 適 用 企 業	簡易水道	10	9	7	8	8	5	8		▲2 ↑
	公共下水道	198	137	174	173	157	157	106		▲92 ↑
	漁業集落排水	13	5	33	40	20	26	34		21 ↓
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 〔表14〕一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	379	381	392	381	387	401	450			71 ↓
貸付金計	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓

※「貸付金計」にはH20年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

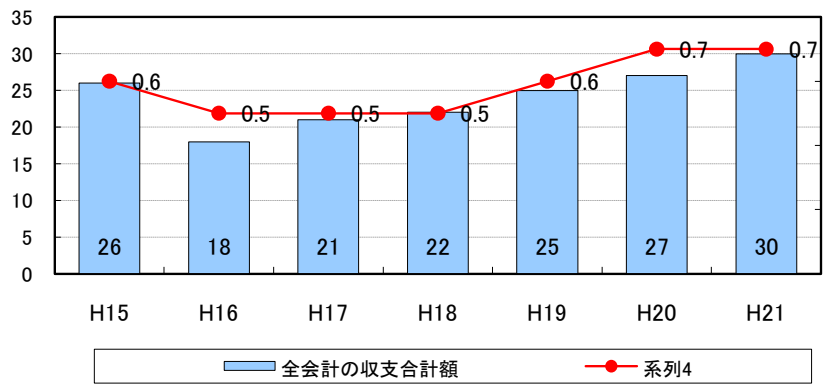
【土地開発公社への財政支援等の状況】 〔表15〕土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
債務保証残高	206	138	138	0	0	0	0			▲206 ↑
平成19年度末の「供用済み土地」	-	百万円								
平成19年度末の「未収金土地」	-	百万円								

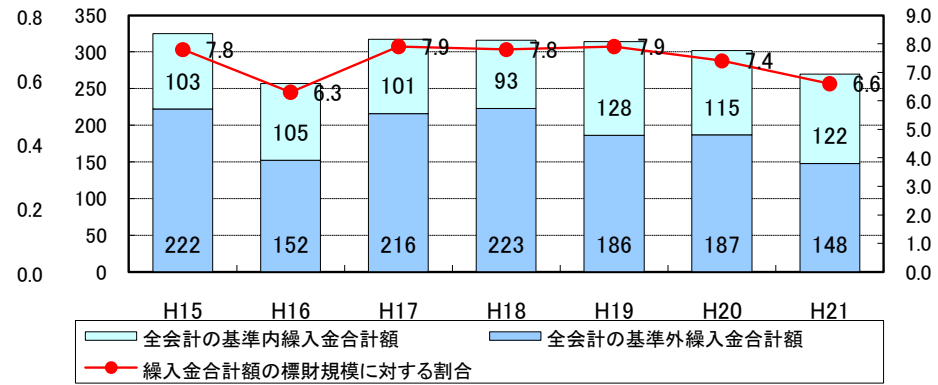
【第三セクターへの財政支援の状況】 〔表16〕第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	3	4	4	1	2	4	5			2 ↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
損失補償残高	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓

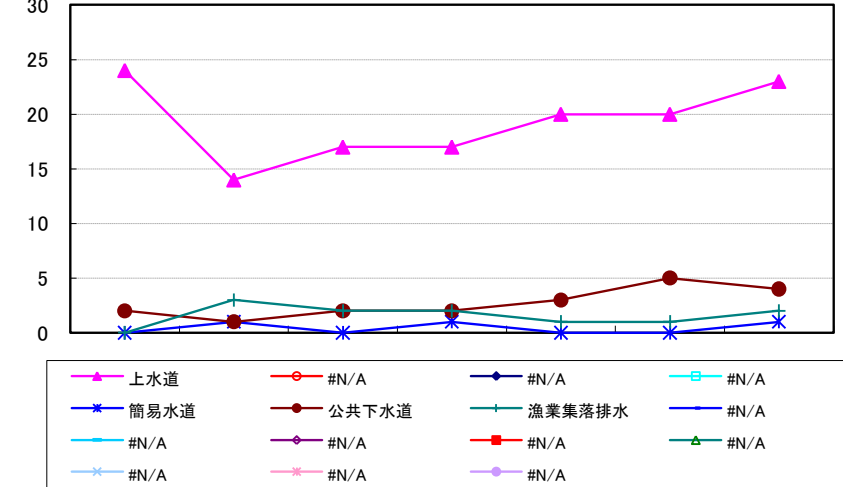
〔図11-1〕公営企業の収支の状況



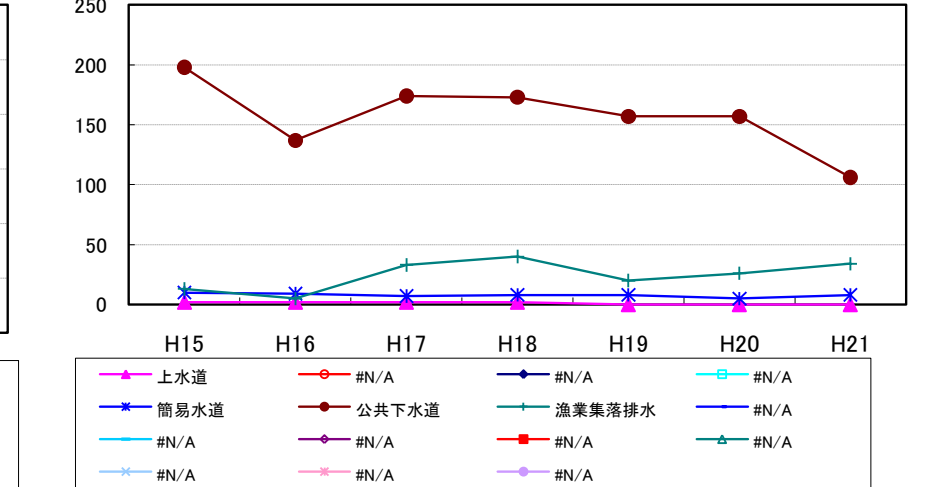
〔図13-1〕公営企業の繰入金の状況



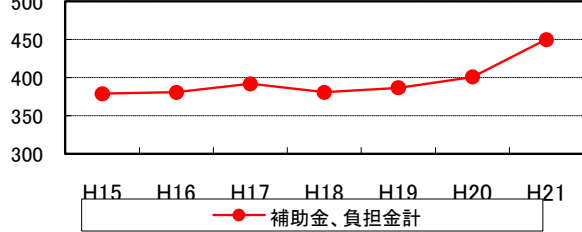
〔図11-2〕公営企業の収支の状況(会計別)



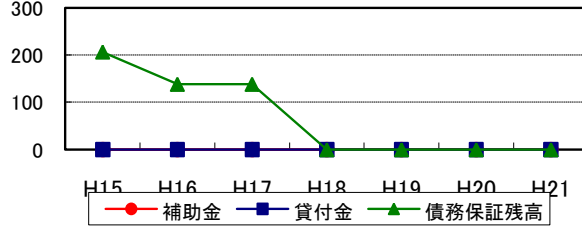
〔図13-2〕公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



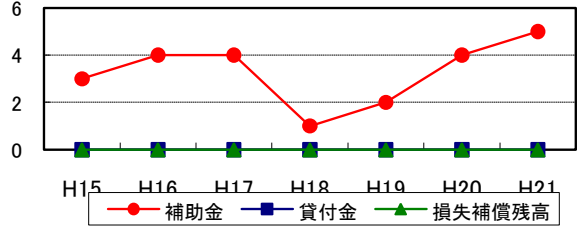
〔図14〕一部事務組合への財政支援の状況



〔図15〕土地開発公社への財政支援の状況



〔図16〕第三セクターへの財政支援の状況



〔図13-3〕H21企業債残高とH21公営企業の繰入金の状況

